

## 第 6 章 自由回答

---

5種類のアンケート調査において多数の貴重なご意見を頂戴致しました。その概要を以下に掲載します。なお、( )は、件数を示します。

## 一般高齢者

---

### 1 高齢者施策全般について

- ・ 高齢者が安心して暮らせるまちにしてほしい。(6)
- ・ ひとり暮らしが多いので、防犯に力を入れてほしい。
- ・ 松戸は全般的に少し「優しさ」がかけられているような気がする。
- ・ 道路、交通手段、病院、防犯など安全で安心して暮らせるまちづくりを進めてほしい。
- ・ 75歳以上の高齢者で介護を受けていない人たちが、健康を維持できるような支援を充実させてほしい。
- ・ 多大な費用がかかるお祝い制度を廃止して出生の方へ回すようにする。記念すべき100歳になられた方のみ祝う。
- ・ 物価が高い。
- ・ 江戸川区の対応を聞くにつけ、羨ましいと思う点が多い。
- ・ きめの細かい優しさのあふれた施策を。
- ・ 身体の不自由が利かない人でも、手続き、申し込み等、自宅でできるようにしてほしい。
- ・ 市内循環バス、市の厚生施設の高齢者特待制度の導入などを。
- ・ 困った人であれば、誰でも使えるサービスを。
- ・ 情報をわかりやすく提供してほしい。松戸駅のエスカレーター・エレベーターの下り設置。特に西口。
- ・ 介護保険よりも健康維持支援に重点を置く方が、市の財政は黒字に転換されると思う。
- ・ 高齢社会に対する市の施策が伝わってこない。高齢者、子ども、困窮者などに積極的方策を実施してほしい。
- ・ 高齢者のことを心から思う、真の高齢者福祉政策を期待する。
- ・ 公平で効率的な事業運営を行ってほしい。特に「福祉器具」については、業者が多大な利益を得ているように思えるが。コムスンのような医療福祉機関がでないよう行政の指導、監視を強めてほしい。
- ・ 老いが来た時には、市、周囲(家族を含めて)の協力をお願いしたい。
- ・ 今後、一人暮らし、老人夫妻で収入が目に見えて少ない人など行き詰まる高齢者が多くなると思う。
- ・ 在宅介護支援センター、地域包括支援センターの具体的な住所、電話番号を入れたパンフレットを町内回覧で配布してほしい。
- ・ 道路の段差、歩道の幅、高齢者には危険性あり。
- ・ 対象サービスが増えるのは良いが、保険料負担は感心しない。
- ・ 多額の費用を費やすのは無駄。もっと知恵を出すべき。
- ・ 高齢者への諸施策対応は「心をいやす人材育成」が肝要。
- ・ 若年者が高齢者の世話をせず、介護保険や医療設備に任せっきりで、それが高齢者の心の障害、医療・保険費の高騰になっている。
- ・ 共同霊園をつくってほしい。
- ・ 難聴(高度)でも緊急通報装置が使えるのかどうか周知してほしい。
- ・ 緊急通報電話を全戸に設置してほしい。
- ・ 民生委員が勝手に訪問してきて困るという話を聞く。
- ・ ごみが重くて指定された場所まで持っていけないので、各家庭の門に出せないか。

- ・ 安心感をもって協力し合い、年齢を重ねていける画期的な松戸プランをつくってほしい。
- ・ 市民税を充分に使ってほしい。
- ・ 無駄な税金の使い方と、使いこみのない安心安全な松戸市をきずいてほしい。
- ・ 我が国は、戦後、日本の復興に尽力してきた高齢者に対して冷たい。松戸百年の大計で立法行政をやってほしい。
- ・ 松戸市に住む事に不安を感じる。
- ・ 人の痛みのわかる行政であってほしい。

## 2 健康・医療について

- ・ 今後健康診断（人間ドック等）を定期的に受けられるようにしてほしい。
- ・ ストレッチ、トレーニング施設を作り、シャトルバスを配備してほしい。
- ・ 医療、予防の充実を。
- ・ 日頃の体操や養生について市で指導してほしい。
- ・ 高齢者が健康で介護を受けなくても生活できるよう、食事、運動、その他生活に取り入れていけばよいことを、町会などを通してアドバイスしてほしい。
- ・ 地域の方々と楽しく参加できる健康サークルが身近にほしい。
- ・ 各地域の老人クラブの援助を増大し、介護を必要とする人を少なくする。
- ・ 老人クラブでの健康づくり、生きがい活動には期待していない。市として政策を進めてほしい。
- ・ 五香地区でラジオ体操をやっていただく場所と企画はないか。
- ・ 介護予防・健康維持を重要施策として進めてほしい。(3)
- ・ 緊急入院した際、大部屋に空きがないとあって、個室に入ることがあったが本当に個室でなくてはならなかったのか。
- ・ 安心して病院に入れるようにしてほしい。
- ・ 高齢者の医療制度により在宅医療を行う仕組みが整備されてほしい。
- ・ 市立病院の早期建てかえを。
- ・ 施設（介護・医療入院）経営の方向が贅沢に向かっているように感じる。ジェネリック薬品使用の極力推進。
- ・ 緊急医療を要する場合、タクシーでも一定の補助制度を設けてほしい。
- ・ 3か月で他の病院、施設に移らなくてはいけないことは何とかならないか。不安や心配事をいつでも親身に相談できる場所が身近にほしい。
- ・ 身よりもお金もない高齢者のための入院施設を作してほしい。
- ・ 「後期高齢者」の名前、あまりにも馬鹿にした言葉ではないか。せめて、「寿」とかでもつけてほしい。

## 3 介護保険サービスについて

- ・ サービスを利用しなかった人への対応を。(6)
- (介護サービスを利用しなくて亡くなった場合/サービスを利用しないで自力で生活している人/介護保険をかけても何もしてもらえなかった)
- ・ 介護保険サービスを緊急に利用したい場合、すぐ利用できるようにしてほしい。(2)
- ・ 介護保険料はずっと払っていたが、特殊ベッドを貸し出してもらえなかった。
- ・ 風邪などで熱が出たとき1日でもいいから食事その他を手伝ってほしい。
- ・ 在宅の24時間介護体制や、老人ホーム、老健施設、グループホームなどサポート体制をできるだけ整えてほしい。
- ・ 70歳以上で介護を必要としない人に対するサービスが悪いように思う。
- ・ 住宅が団地の3階で車いすを持ち運びできないため、近くの事業所で借りられるとよい。

- ・安心して介護サービスが受けられるようにしてほしい。
- ・認知症だと介護保険の段階が低く公的援助（介護）を受けられない。
- ・高齢者と息子（日中仕事をしている）で生活している場合、給食サービスを受けられないのが困る。
- ・簡単な手続きで利用できる施設があるとよい。
- ・特養、グループホーム等を利用したくなった時、どの程度の確率で利用できるのか不安が大きい。
- ・特別養護老人ホームを増やしてほしい。(2)
- ・介護認定結果についての十分な説明をしてほしい。
- ・介護認定は、軽症者には厳しく、重症者には手厚くサービスしてほしい。
- ・介護保険は強制的に取られているが、介護認定値が非常に個々により大差があり、信用性が低い。
- ・介護認定を適正にし、介護サービスは必要なところに必要なだけ、そして保険料を正しく有効に使ってほしい。
- ・介護保険を受けている人の見直しも必要ではないか。
- ・事業所の職員が不足しているので、市が資格取得を後援するなど支援してほしい。
- ・サービス事業者への助言・指導の強化とともに、サービス内容の検討もお願いしたい。
- ・経営面・サービス面で介護保険サービス事業者へ、介入・指導してほしい。介護保険サービスの内容の情報をインターネットで入手できるようにしてほしい。
- ・介護ボランティアをした人にポイント制度を作り、後に介護される立場になった時、利用できるようにする。(3)

#### 4 介護者について

- ・ショートステイをお願いして私自身のリフレッシュをしているが、腰痛になったときが不安。
- ・認知症の受け入れ先が少なく、介護に疲れている。
- ・できる限り介護に対する支援に力を入れてほしい。

#### 5 経済的負担について

- ・各種税金が高い、国民年金が少ないなど。(15)
- ・介護保険料、サービス費用が高い。(13)
- ・医療費負担が大きい。負担は1～2割までにしてほしい。(6)
- ・バスなど交通費への助成をしてほしい。(6)
- ・医療費など、何でも無料にする必要はないと思う。(2)
- ・福祉の充実が望むが保険料の値上げは無理なので、ほどほどの充実でやるしかないのでは。
- ・上を見ればきりはないし、下を見ればきりはない。ほどほどで良い。
- ・働ける場があるとよい。
- ・市内施設等が、70歳以上有料になった事により、市財政にどのような有益があるのか疑問。
- ・介護を受けている人、介護をしている人への支援を厚くしてほしい。一部の人しか利用できない老人クラブ、生涯大学等は原則自己負担にしてほしい。介護保険料、医療費がこの先、上昇し続けるのかと不安。
- ・身体の不自由な人が市の紹介でマンションに入居したことについて、家賃などは市が助成しているのか。

#### 6 住まいについて

- ・ 市営住宅を増やしてほしい。
- ・ 健康な 70 才以上の独身者の住居を確保してほしい。
- ・ 家賃が高い。安心して暮らせる場所で夫婦で暮らしたい。
- ・ 低額で入れる老人ホームなどの施設を整備してほしい。(6)
- ・ 希望する者に応えられる施設を増やしてほしい。
- ・ 低料金の老人ホーム、公立高齢者住宅を増やしてほしい。

## 7 情報提供・相談について

- ・ 介護保険、保健、医療、福祉サービス等の情報提供を充実してほしい。(11)
- ・ 介護保険等についての説明会があるとよい。(2)
- ・ 高齢者が利用できる施設の地図などがあるとよい。(2)
- ・ 広報等に情報を数多く載せてほしい。(2)
- ・ 介護施設、事業者等の情報、民生委員の活動情報を公開してほしい。公共性の高い特別養護老人ホーム等の増設、拡充を。
- ・ 高齢者だけで住んでいると何も情報が伝わらないので、75 歳以上の人に訪問調査をするなどわかりやすく情報を伝えてほしい。
- ・ ひとり暮らしの高齢者に対し、高齢者施設情報を適宜知らせしてほしい。
- ・ 誰にでもわかるように書いてほしい。松戸市は後期高齢の言葉は使わないでほしい。
- ・ わかりやすい説明書を配布してほしい。
- ・ 年間の税金でも本人に関わることは連絡してほしい。
- ・ 自治会等の情報提供がほしい(当自治会に入会している家庭は約半分。東京 23 区を見習ってほしい)。
- ・ 保険証の交付等制度に関わるものは、もう少しわかりやすく無駄がないようにしてほしい。
- ・ 気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい。
- ・ 地域の中で、ここに行ったら第一歩の相談ができるという場所があるとよい。
- ・ 福祉課担当の方の訪問があり、相談しやすい。
- ・ 地域の老人クラブを通して、医療介護の相談を受けやすくなるとよい。
- ・ 万一の時、相談できる所や人等が身近にあると心強い。
- ・ 相続に関するノウハウを相談できる窓口を設けてほしい。
- ・ 市役所の相談窓口と受け入れ施設の充実をお願いしたい。
- ・ 高齢者福祉課へ電話しても混線することがあるので、多発傾向の時には臨時的に電話口を増やすなど対応してほしい。

## 8 将来について

- ・ 現在は健康で、将来のことはわからない。できるだけ頑張っていきたい。勉強していきたい。(13)
- ・ 現在は元気だが、将来のことが不安である。(7)
- ・ 将来ひとり暮らしになるようになった時、安心して生活できる施設、相談できる場所が身近にあったらよい。
- ・ 成人に今から老後の事を考え計画的な設計をするように願いたい。

## 9 生きがい等について

- ・ 図書館、パソコン教室の充実を。
- ・ 放送大学の認証資格取得類似の学習項目が行政指導のもと行われているが、今少しハイレベルでアカデミックな内容にしてはどうか。

- ・ 図書館内でゆっくり読書できるスペース（机・休憩室）がある充実した図書館の設置を望む。
- ・ 好きな趣味（新舞踊）にのめり込んでいる。
- ・ 友達とカラオケするのが楽しみ。
- ・ 市民サービスの向上、楽しいイベントの提案を。
- ・ 同世代の人などが気楽に集まれる場所がほしい。
- ・ だんだん遠出はできなくなったので、近くの方々の集まり（共の会）などに出るようにしている。
- ・ マンション住まいになり、サークルに加入したり、人と交流して楽しく暮らしている。
- ・ 50 歳になったら老後の対策を考えておく指導を行う（できれば中、高校くらいから）。高齢者が気軽に出入りできる集会所のような施設を作り引きこもらないようにする。声かけ運動をする。
- ・ 高齢化している環境の中で、町内会を発展させたサークル設立が有効だと思う。
- ・ 市の仕事の大部分は、「再雇用組」が現役時の半分くらいの給与でできると思う。
- ・ 現在は健康で、仕事をがんばっている。
- ・ プライドを捨て、仕事も趣味の一つと考え楽しく働く（健康の証）ことが長く勤められる秘訣。50 歳を過ぎたら、第二の人生の準備をすることが大切なのではないか。
- ・ 高齢者が元気であるうちは努めて就労する機会を与える
- ・ 60 歳代だが、まだまだ社会に貢献したり（ボランティア等）働いたりしたいのだが、情報が少ない。
- ・ 市が働く場を提供すべき。
- ・ 本人の意思に基づく活動を活発にすべき。またそういう自発的団体にこそ助成をすべき。
- ・ ボランティア活動に参加する以前に学習が必要な場合があるので、事前学習の機会を作りたい。
- ・ 町会役員は農家の方が仕切っており、心の優しさがまったくない。明るく楽しく住みやすい場所にしてほしい。
- ・ 介護サービスの仕事などは、地域で助け合っていくべきだと思う。

## 10 まちづくりについて

- ・ 選挙の時、高齢者が市バスを利用できるようになれば投票率も上がるのではないか。
- ・ 市内細部にバスを走らせてほしい。
- ・ 夜の自動車の無灯をなくしてほしい。
- ・ 道から歩道に車が入るところは、スロープが急なところがある。
- ・ 道路舗装工事の際、人の歩く場所が車道より斜めに下がっていて危ない。
- ・ 歩道が狭い（特に馬橋駅付近は歩道が全くないところもある）。狭い歩道を商売のため占領しているところもある。
- ・ 歩道と車道の段差が気になる。
- ・ 鉄道駅、公共施設等へのエレベーター、エスカレーター、多目的トイレ等の設置など施設整備を充実してほしい（松戸駅、北小金駅、六実駅、新八柱駅、病院、図書館、森のホールなど）  
(9)
- ・ 馬橋駅東口にバスが停車しているため土地を確保してほしい。
- ・ 歩道の適当な場所に一時的に腰かけられる施設がほしい。
- ・ 常磐線松戸駅前に水飲み水道や、体を休めるための椅子を設置してほしい。

## 11 アンケート調査について

- ・ このアンケートは、どのような生活をしているか 制度、行政の具体的なことを知っているか あなたは何を行政に望むか の3つに絞った方がよかったと思う。

- ・ 質問がわからないところがあった。
- ・ 転居してからまだ日も浅く、市に関する詳細な事は不明の点多いのでアンケートの内容も把握していない。
- ・ 介護について（保険サービス）その他の回答になる事が多かった。
- ・ 問 29 について、国の機関でやっているサービスなのか、県や市が主体で運営されているのか、具体的なことがわからない。
- ・ このアンケートは家族に対してがほとんどで、一人暮らしの我が身にはあまり関係がないようだ。
- ・ 実際に利用できるようになったら、もっと詳しい意見が言えると思う。
- ・ 今回のアンケート調査で、市の施策等知らないことが多いことに気がついた、勉強になったなど。(9)
- ・ アンケート結果が活かされ、実際に行われているのかどうか。
- ・ 書きたいこと、言いたいことはたくさんあるが、書いてもどうなることでもない。

## 12 その他

- ・ 介護サービス従事者、施設、市等への感謝の念。(7)
- ・ 実感がない、よくわからない。(3)
- ・ 形式にとらわれすぎず、社会でのびのびと生きさせてほしい。

## 若年者

---

### 1 高齢者施策全般について

- ・ 高齢者が安心して生活できる市になってほしい。
- ・ 年金で生活している高齢者が、金銭的にも精神的にもゆとりある生活ができるシステムにしてほしい。
- ・ 高齢になっても尊厳をもって暮らしていけるシステムやボランティアの活用など工夫してほしい。
- ・ アンケート結果が公表されていない(前回)、『いきいき安心プラン』が十分に説明されていない。地域の自治会との連携がとれていない。
- ・ 健康な人もそうでない人にも平等に色々なサービスを考えるのが、市としての役目ではないかと思う。
- ・ 税金の無駄遣いをせず福祉サービスを充実してほしい。歩道の整備の充実。高齢社会を充実させるためには、子どもたちへの福祉の充実が必要。八柱霊園のような大規模な市営霊園が必要。高齢社会に対し、市が対応している内容が分かりづらい。
- ・ 互いに助け合うという意識を根付かせることと、それを実現するためのリーダーシップを行政に期待したい。
- ・ ケア施設等、本当に困っている人のためにも、福祉の補助金等の不正受給へのチェックを厳しくしてほしい。
- ・ 病気等で困っている人のためになる市に期待する。
- ・ 高齢者に優しい街づくりを目指すなら、まず公共設備と道路(歩道)の整備、街中の汚れた場所、不良が集まりやすい環境を排除し、オープンで明るいスッキリした街づくりをしてみてもどうか。
- ・ 村八分のようなものをなくす活動をしてほしい。
- ・ 高齢社会の現状もわかっているが、子育て世代のサービスの検討もお願いしたい。
- ・ 全国的に少子高齢化が進んでいるが、結婚しない男女、結婚できない男女の救済策、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを希望する。
- ・ 窓口は心のこもった対応をしてほしい。

### 2 健康・医療について

- ・ 新松戸にも健康施設を増やしてほしい。
- ・ 認知症患者がこれだけ増えているにも関わらず、適切な治療のできる医者や医療機関が少ない。

### 3 介護保険サービスについて

- ・ 施設や高齢者住宅が増え、利用する人が増えていることが、本来の介護保険導入の目的とのずれが生じている。在宅介護者に対する支援を増やしてほしい。医療と介護の線引きがはっきりしていない。自立支援に力を入れてほしい。要支援に対してのサービスが増えた事により、介護度の重い人に対してのサービスが困難になっているように感じる。
- ・ 介護制度を利用させてもらう時が来た時、わかりやすく気軽に相談できて、高齢者すべてに公平に受けられるようにしてほしい。広報などにも常時、色々なお知らせを載せてほしい。
- ・ 目や足が不自由な老人が病院に行く場合でも介護保険が使えず、少ない国民年金の中からタクシー代を支払わなければならないと困っています。介護保険料を支払うのみで、上手に利用している人にばかり流れているのはどうしてか。
- ・ 何年か前までは要介護1でも補助金が出ていたそうだが、できれば復活してほしい。
- ・ サービス利用の申し込みを簡単にできるようにしてほしい。



#### 4 経済的負担について

- ・介護保険料が健康保険料に含まれているので、自分がいくら払っているかわからない。
- ・年金生活者に対して税金、社会保険料が高すぎる。
- ・高額所得者からの税収を高くしてほしい。

#### 5 住まいについて

- ・宿泊できる施設をつくってほしい。
- ・特別養護老人ホーム、軽費老人ホームなどが不足している。介護保険料制度などを利用するためには、内容がとても難しい。

#### 6 情報提供・相談について

- ・介護に関して知らないことが多いので、もっと情報がほしい。もっと安く利用できる施設を増やしてほしい。歩道の改善を。
- ・松戸市における福祉サービスは何が行われているのか、どこへ行けばわかるのかわからない。
- ・松戸市の病院などに、介護等についてのパンフレット等を置いてほしい。
- ・情報をわかりやすく伝えてほしい。

#### 7 将来について

- ・いずれ介護が必要になるかもしれないので、勉強していきたい。(4)
- ・介護が必要になったら相談したい、そのときに検討したい。(2)
- ・松戸市は病院、施設等のベッド数も少なく、これから色々な施設を利用でき安心してできる人生を過ごすことが希望である。
- ・子どもには自分の人生を大切にしてほしいので、自分は老後、一人で生活していても充実したサービスが受けられればと思う。

#### 8 生きがい等について

- ・ウォーキングなどができる歩道、街路樹、市民プール(温水)、水中歩行できるレーンを増やしてほしい。図書館の本を充実してほしい。老後に向けてためになる講座、生涯学習を充実してほしい。介護予防、認知症についての情報を知りたい。
- ・高齢者と子どもたちがふれあえる場所、機会を増やしてほしい。
- ・高齢になると家に閉じこもりがちになるので、おしゃべりしたり楽しく過ごせる場所があるといい。
- ・高齢の方でも仕事をしたいと思っている人も多いので、活躍できる場を考えるとよい。
- ・シルバー人材センターの活動を市の広報などで知らせてほしい。シルバーで女性がボランティアでできることを増やしてほしいです。
- ・実際に介護を受けるのはまだ先だが、積極的に地域の支援活動に参加できればと思う。

#### 9 まちづくりについて

- ・高塚新田は施設がほとんどなく不便。バスの路線を変えてほしい。
- ・未だに側溝が塞がれていなかったり、歩道が狭かったり、段差があったり、車椅子の移動が困難と思われる箇所が多々ある。バス便もない。
- ・車椅子で誰もが自宅から郵便局に年金をおろしに行けるような街づくりをしてほしい。乳母車のお母さんの生活も楽になる。
- ・六実駅の高架化など考えてほしい。
- ・駅周辺の放置自転車は、係員が見ている時間帯の平日午前中以外は多く通行の邪魔になってい

るので、車椅子や杖を使用しながらは通ることができない。

- ・ 色々な場所にベンチなどを置いて、高齢者が外へ出やすい環境づくりをしてほしい。歩道を改善してほしい。
- ・ 馬橋駅とバス停が遠く不便。駅前の買い物など、生活も不便。

#### 10 アンケート調査について

- ・ アンケートのボリュームが多すぎる。回答協力した人への反対給付が必要（せめてアンケート結果の分析を返送するなど）。
- ・ 丸を付けただけでは十分に答えられない質問もあった。というのは、自分の希望だけではないことと、介護保険サービスの内容をあまり知らないので、その費用の負担の増減もサービスの内容によるからである。
- ・ アンケートが届いたことがきっかけで、ちょっとは考えるようになると思う。

## 在宅要支援認定者

---

### 1 高齢者施策全般について

- ・ 昔の世の中は、お互いに助けあっていた。
- ・ 近所の在宅の方へ、近所に住む者として、会う度に声をかけたり、立ち話でもするように心がけている。
- ・ 歩くことのできる道路環境など、健康管理にも部署を越えた知恵を働かしてほしい。
- ・ 歩道のでこぼこが多く、照明が暗くて歩きにくい。
- ・ 生きがい事業団に掃除、庭などやってもらい、介護保険でできないところをお願いしてやっていきたい。
- ・ 目の見えない人に対するサービスを作ってほしい。
- ・ 松戸市立病院の早期再建、松戸駅（とくにトイレ）構内の清浄を。

### 2 介護保険サービスについて

- ・ すべての病院で介護保険を適用できるようにしてほしい。
- ・ 福祉の精神にのっとり、軌道修正・改善等されるべき点は改良を加えられつつ、本介護制度の今後ますますの充実・発展に期待する。
- ・ 介護保険制度について、一般市民にもっと根本的に内容を説明する必要があると思う。
- ・ デイサービスの食事がおいしくない。
- ・ ホームヘルプの時間延長、買い物するサービス、配食の味等の向上、話し相手など。
- ・ 紙おむつを支給してほしい。
- ・ 1ヶ月に1回来ていただいて、相談をしたり、お手伝いをしてほしい。
- ・ 介護者が病気・ケガ等、緊急に介護ができなくなった時、安心できる場がほしい。
- ・ 急病の時、介護所やシルバーの方でもお願いできる所（私費でも）を作ってほしい。
- ・ 家族のストレスも溜まり、トラブルもあり、このまま母の症状が進むと自宅介護がいつまでできるか不安の毎日なので、週3回くらいの通所を希望する。
- ・ 要支援者へのサービスの制限が多い（福祉用具、送迎、リハビリ、通所介護など）。(5)
- ・ 飲む薬でなくともヘルパーが買ってきてくれないのは、自由のきかない者には非常に困る。
- ・ 特別養護老人ホームを増やしてほしい、入所できるようにしてほしい。(3)
- ・ 安く面倒を見てもらえるような場所ができるとよい。
- ・ 入所施設をつくってほしい。
- ・ 脳梗塞、心筋梗塞のある人は認定が軽いように見える。
- ・ 要支援2以上になれないので、痛くても我慢して生活している。
- ・ ホームヘルパーの質の向上を望む。(2)
- ・ 介護職の報酬が低すぎる。
- ・ デイサービスへの指導を強化してほしい
- ・ タクシー、介護タクシー利用への援助をしてほしい(4)
- ・ 歩行が困難になったとき、通院を介助してほしい。
- ・ 色々な申請を出しても処置が早くなった。
- ・ 今後も介護保険サービスを継続したい。
- ・ 経験しながら理解を深めていきたい。

### 3 介護者について

- ・ 介護について相談できる場、介護者同士が交流できる場がほしい。(2)

- ・ 介護している家族の負担が大きい。(2)
- ・ 家で介護している者がもっと報われる社会ができるとうい。

#### 4 経済的負担について

- ・ 年金からいろいろな費用を差し引くのはやめてほしい。
- ・ もう少し弱者の身になって介護保険料を少なくしてほしい。
- ・ 院内介護のため時間を要するため、費用が相当かかっている。

#### 5 住まいについて

- ・ 民間の借家なので料金高額のため、公共的な住宅(市営・公営)に入りたい。
- ・ 低額介護有料老人ホームの提供を。

#### 6 将来について

- ・ 週2回ヘルパーに助けていただいてなんとか主人の介護をしている。
- ・ 今のところ自分の事はできているが、今後体調を悪くした時の事が心配。

#### 7 アンケート調査について

- ・ 調査内容が難しい、多い、大変。(2)
- ・ 全員でもっと疑いをもたれないアンケートの出し方について検討してほしい。
- ・ アンケート結果を自分たちの都合のよいように利用しないでほしい。

#### 8 その他

- ・ 介護サービス従事者、施設、市等への感謝の念。(5)
- ・ もう十分生きた。尊厳死に賛成。

### 1 高齢者施策全般について

- ・ 老老介護の中、市の支出を増やしてほしい。
- ・ 他の施策に優先して高福祉を充実してほしい。
- ・ 地域の中で、顔見知りの年寄りたちが集まり、泊まり、通える場所、また、子どもたちとふれあえる施設を作りたい。
- ・ 一人暮らしの場合の安全確認する方法の早急なる確立。

### 2 介護保険サービスについて

- ・ 無駄な出費をおさえて充実した介護保険が持続するように望む。
- ・ 保険料を納めれば介護が受けられる、充実した制度を望む。
- ・ 介護保険制度の改正に伴いよくなったことがない（デイサービスの食事の実費負担など）。
- ・ 訪問介護など利用時間を増やそうと思うと、税金の無駄遣いになってしまう。介護保険制度に一考を要する。
- ・ 介護のことは言っても通らない。
- ・ 介護保険の申請から利用まで3か月以上かかった。
- ・ 急用の時にショートステイを利用したい。(4)
- ・ ホームヘルプなどサービスの適用範囲がどこまでかわからない・ 広げてほしい。(3)
- ・ 同居家族がいても利用できるサービスの制限を緩和してほしい（配食サービス、ホームヘルプサービスなど）。(3)
- ・ 今まで利用できたサービスが利用できなくなり、介護者に負担がかかる。(2)
- ・ 介護保険サービスの利用にあたり制約が多い・ 緩和してほしい。(2)
- ・ 本人の食事（給食センターの条件等）を拡大してほしい。
- ・ 些細なことをお願いする場所があると嬉しい。
- ・ 年齢が若い認知症の人たちが通所できる場所がない。
- ・ 予防中心のサービスが多く、介護が必要な時はサービスが受けられない。
- ・ デイケアでのリハビリをしっかりと指導してほしい（お客様扱いでなく）。
- ・ ショートステイの施設と自宅が近いと安心感がある。
- ・ デイサービスの時間を延長してほしい。
- ・ おむつの補助の引き替え薬局を増やしてほしい。
- ・ ホームヘルプの時間が短い（利用時間の中に日報を書く時間が含まれている）。
- ・ 病気（骨粗鬆症など）によって散歩を認めてほしい。
- ・ 目が見えない人にも楽しく暮らせるようにしてほしい（デイサービスなど）。
- ・ 1日10時間位までデイサービスを利用できるようにしてほしい。
- ・ 吸引用器具が一般レンタルか自費購入であることや、検査用入（退）院時の移送費に介護保険が利用できないなど、制度のあり方がおかしい。
- ・ リハビリ施設、リハビリのみの通所施設の充実を希望する。
- ・ デイサービスからそのままショートステイができるようなところを望む。
- ・ 紙オムツの支援があるといい。
- ・ 介護が必要になったときなど、老人ホームなどがあるとよい。(6)
- ・ 特別養護老人ホームを増やしてほしい。(3)

- ・寝たきりなので老人ホームでは受け入れてもらえず、病院ももう少し長くみてほしい。
- ・老人ホームから出ることになった時、他の施設や病院へスムーズに移れるのかどうか、また、在宅での生活がかなうかどうか。
- ・2～3世帯がある程度のプライバシーを守れる120平方メートルの住居をスタンダードとしてほしい。
- ・自宅介護が無理になった時に、安くてサービスが行き届く所（施設等）がほしい。
- ・介護認定の不公平、他市との格差を是正してほしい。
- ・認知症などの介護認定が適切でない（軽い）。
- ・認知症に比べ、体が動かしにくい人などの認定を重く考えてほしい。
- ・介護認定結果について十分な説明をしてほしい。
- ・ホームヘルパーの育成、質の向上に力を入れてほしい。(4)
- ・施設の衛生面がよくない、スタッフも知識不足、人材不足。
- ・介護認定調査員の教育、指導を徹底してほしい。
- ・グループホーム職員の知識不足に対し、市からの講座を設けるなどの対応をしてほしい。
- ・介護担当職員は経験がある方が一番よい。
- ・事業所で介護職員の不足、ケアマネの不足、募集しても人が集まらないとの話をよく聞く。
- ・利用する人の立場に立った窓口対応などすべての面で考えてほしい。
- ・市立病院の医師で、認知症の患者や家族の気持ちを理解できてない人がいる。
- ・職員の態度、その言葉が幼児に対するもので嫌だった。
- ・介護に従事している人の賃金の上昇、待遇の向上が必要である。(5)
- ・介護支援事業所が、サービス利用の限度額までサービスを使わせるようなプランを立てている感じがする。
- ・サービス利用者の個人情報漏れないようにしてほしい。
- ・介護タクシーを利用しているが、病院の送迎だけでなく他の外出も保険サービスが受けられたらいいと思う。
- ・ふれあい22へ行く介護タクシーの利用料金を少し安くしてほしい。
- ・歩行困難の人にはタクシー券を配布してほしい。
- ・散歩等、ヘルパーに付き添ってもらいたい。
- ・ひとり暮らしのため、外出への支援など、もう少し町内の人々の理解がほしい。
- ・通所リハビリをしたいので送迎を頼みたい。
- ・人工透析の通院時の交通費が大きな負担となっている。
- ・通院等だけでなく、リハビリのためにプールへいくときにも送迎をしてほしい。

### 3 介護者について

- ・介護者のストレス解消、リフレッシュ、精神的ケア、心身の負担軽減、経済的負担の軽減ができることよい。(14)
- ・本人により適したサービス内容の希望など、老老介護だと介護者自身が考えるのは難しい。
- ・介護者が相談できたり、悩みを共有できる場があるとよい。
- ・介護をしてあげても受けている本人は少しもすまないという態度を見せず、辛く悲しい。
- ・自分の体を休ませているつもりだが、今は頑張るしかない。私が倒れたら主人が悲しむと思う。

#### 4 経済的負担について

- ・費用が段階制的になる施設がほしい。
- ・おむつの支給を、本人に対して非課税の者にもう少し多く支給が受けられたら助かる。
- ・実費分（食費）の負担が大きい。利用時間を選べるようになると便利と思う。
- ・家族の介護について、介護保険上の手当、税制上の優遇など、利用者の立場に立った工夫が必要である。
- ・電動車いすの利用料、ケアマネジャーへの支払いが高い。
- ・自己負担を少なくして、良いサービスが受けられるようになることを望む。
- ・借家生活のため本当に困っている人などは、優先して公営や市営の住宅に住めるようお願いしたい。
- ・介護保険料を安く見直してほしい。
- ・各人が介護保険料を支払う方法にすれば誰も保険料など支払いしないと思う。介護保険制度を根本から見直すべきと思う。
- ・老人ホームなど高い。税金を支払っている人たちがもう少し全員、平等にサービスを利用できるようにしてほしい。
- ・介護保険にかかる金額が高い。
- ・松戸市紙オムツ支給券では足りなく、オムツ代が大変である。
- ・ベッドが必要だが高く買えないため、介護の方で年金から天引きで援助できるとよい。

#### 5 住まいについて

- ・公団の3階への昇り降りが大変なので外出はあまりできない。
- ・団地のため、1、5、7階しかエレベーターが止まらず移動が難しい。

#### 6 情報提供について

- ・最近の介護保険制度は複雑でよくわからない。
- ・紙おむつの支給、通院のためのタクシー等々、情報が不足している。
- ・認知症についての知識を知りたい。
- ・安心して預けられるショートステイ等の指導、施設の情報がほしい。
- ・費用総額の負担割合がわからない。
- ・介護タクシーの内容、利用料金がよくわからない。
- ・アルツハイマー病の要介護者への対応方法がわからない。
- ・アンケートにより、介護を受けながら内容を承知していないことがわかった。
- ・送られてくる様々な資料について、家族のいない高齢者だけの家庭では理解できないのではないか。

#### 7 将来について

- ・現在は介護できているが、将来のことが不安である。(9)
- ・介護人も要支援2なので、老老介護になり急変された時にはとても大変である。
- ・一人でケアハウスに入居しているが、膝の手術など心細い。
- ・老人にとって不都合なことの多い方へ進んでいるようで不安。

## 8 アンケート調査について

- ・ 調査内容が難しい、入居者等の状況にあっていない。
- ・ 本人が認知症のため、代理で回答した。(2)
- ・ 本調査に不記載の点多々あるが、色々ご配慮いただきありがたい。
- ・ 介護を受ける本人、介護をする人、介護間近な一般の人、これらを混同したアンケートのように思える。計画を立案し、事業計画をたてるのみでなく、困った人にいつでも職員を派遣できる体制があればそれでよい。
- ・ 遅くなり申し訳ございません。

## 9 その他

- ・ 介護サービス従事者、施設、市等への感謝の念。(11)
- ・ 家では子ども孫まで一丸となって一緒にできるだけ話して暮らしており、今まで大変な人生を送ってきた人だからと思えば平気だし、これが子ども・家族の役目だと思っている。
- ・ 人工膝、要介護2、身体障害者4級第2種、慢性関節リウマチによる機能障害で現在に至る。



## 施設サービス利用者

---

### 1 高齢者施策全般について

- ・誰もが簡単に安心して生活、利用できる介護福祉を。
- ・家族の承諾なしで、治らない患者を延命治療していくことは家族に大きな負担となり、精神的にも困難がある。

### 2 介護保険サービスについて

- ・介護保険を有効に使ってほしい。
- ・市民が老後を安心して生きていくためであれば、何回も見直してもらっていいと思います。
- ・3か月毎に他の施設に移らなければならない仕組みがよくわからない。
- ・療養型病院での介護（入浴、声かけなど）を改善してほしい。
- ・入浴を週2～3回にしてほしい。
- ・特別養護老人ホームなど、認知症とそうでない人との区別をした部屋にして、食事なども別にしてほしい。
- ・施設のクオリティのチェックは市の方でやっているのか。
- ・もっと身近に、短期間ごとに状況・不安等を聞いてほしい。介護に関して役所から届く書類内容に難しい言葉が多くてわかりにくい。
- ・特別養護老人ホームに入所でき、施設の方々が教育されていて、介護のプロであると同時に人間として愛情深いのが何よりである。
- ・特別養護老人ホームに入るまでに時間がかかりすぎる。(3)
- ・松戸に介護保険施設が6ヶ所しかないので増やしてほしい。
- ・松戸には介護療養型施設が3病院しかないのもっと多くの病院の門が開くことを希望する。
- ・認知症と成人病をかかえた高齢者が住みやすい施設に入所できたら嬉しい。
- ・手足の不自由な人より、認知症の人の方が介護度が低いように感じる。
- ・施設で働いている人の人数が少ない。
- ・介護士さんに明るい仕事状態が与えられるようにしてほしい。それが介護される者も親切にされることだと思う。

### 3 経済的負担について

- ・住宅事情により、要介護度によって金銭面で非常に難しい。
- ・病院へのタクシー代が大変。
- ・居住費や食費が他の施設より高い。
- ・胃ロウのため介護老人保健施設の個室になるため費用がかかり、特別養護老人ホームにも入れないので支援してほしい。

### 4 将来について

- ・今後のことを心配せずに暮らしたい。
- ・身体が不自由、脳に障害があり、施設でないと生活できない。

### 5 アンケート調査について

- ・(本人でないと)答えられない質問がある。(2)
- ・本人が認知症のため、家族の者がわかる範囲で書いた。